

# 技術研究会のご紹介

1. 秋田県非破壊検査技術研究会
2. 秋田県高分子材料研究会
3. 秋田県表面処理技術研究会
4. 秋田県生産技術研究会
5. 北東北ナノメディカルクラスター研究会
6. 秋田県硬質工具材料研究会
7. 次世代ひかり産業技術研究会
8. 高エネルギー加速器技術研究会
9. あきたAI・IoT技術互助会
10. 秋田県ロボット技術研究会

# 秋田県非破壊検査技術研究会

## 本研究会について

**会長** 佐々喜興業(株) 代表取締役 佐々木 一喜

**目的** 非破壊検査技術に関する研究を行い、技術水準の向上普及を図り、工業の発展に寄与することを目的とする。

**経緯** 研究会設立の発端は、昭和50年頃、東京都で建築鉄骨の溶接不良が社会問題となり、本県の鉄骨業界も超音波検査技術者の育成を迫られました。そこで、業界と当時の工業試験場が協議し、昭和52年7月に工業試験場を事務局として、「秋田県非破壊検査技術研究会」が会員数38で発足しました。

## 主な活動内容

現在の主な事業は、総会、講習会、講演会、事例・研究発表会、工場見学会です。講習会は、日本非破壊検査協会が年2回春秋実施している認定試験に合わせた、UTレベル1、レベル2の座学及び実技講習を実施しています。また、会員企業が抱えている種々の技術課題に具体的に対応し、解決方策や新技術の開発等を促進するため、平成17年度から有志からなる技術向上委員会を発足して活動しています。

## 会員数・有資格者数の推移

| 年 度         | 正会員 | 賛助会員 | 特別会員 | 計  |
|-------------|-----|------|------|----|
| 昭和52年（設立時）  | 34  | 4    | 0    | 38 |
| 平成 8年（20周年） | 62  | 3    | 8    | 73 |
| 平成18年（30周年） | 46  | 3    | 10   | 59 |
| 平成28年（40周年） | 44  | 3    | 8    | 55 |
| 令和 7年（現在）   | 41  | 3    | 7    | 51 |

| 年度    | 超音波探傷(UT) |    |    |    | 放射線(RT) |    |    | 磁粉探傷(MT) |    |    | 浸透探傷(PT) |    |    |
|-------|-----------|----|----|----|---------|----|----|----------|----|----|----------|----|----|
|       | 1種        | 2種 | 3種 | 鉄骨 | 1種      | 2種 | 3種 | 1種       | 2種 | 3種 | 1種       | 2種 | 3種 |
| 昭和53年 | 0         | 7  | 1  | 0  | 0       | 8  | 1  | 0        | 2  | 0  | 0        | 4  | 0  |
|       | 8         |    |    |    | 9       |    |    | 2        |    |    | 4        |    |    |
| 平成8年  | 43        | 50 | 5  | 17 | 3       | 4  | 1  | 1        | 3  | 0  | 2        | 5  | 0  |
|       | 115       |    |    |    | 8       |    |    | 4        |    |    | 7        |    |    |
| 平成18年 | 29        | 36 | 5  | 17 | 0       | 4  | 1  | 0        | 4  | 0  | 5        | 8  | 0  |
|       | 96        |    |    |    | 5       |    |    | 4        |    |    | 13       |    |    |
| 平成28年 | 43        | 56 | 10 | 36 | 0       | 10 | 1  | 1        | 11 | 1  | 12       | 36 | 2  |
|       | 145       |    |    |    | 11      |    |    | 13       |    |    | 50       |    |    |

## 設立40周年記念



# 秋田県高分子材料研究会

## 本研究会について

本研究会は、プラスチック成形加工、及び金型製造等に関係する企業、並びにプラスチック成形機械メーカー、周辺機器メーカー、材料メーカーによって構成されております。昭和59年に設立以来、技術講演会、講習会、先進地見学会等を開催し、開発研究、生産技術、市場動向等の最新情報交換の場を提供して、会員企業相互の研鑽に務めております。

会長 佐藤 宗樹（株式会社ホクシンエレクトロニクス 代表取締役社長）  
正会員企業 27社、賛助会員企業 5社、特別顧問 3名（秋田県立大学）

## 主な活動内容

本研究会の主な活動は、技術講演会、射出成形に係わる講習会、先進地見学会、技術開発案件に対する表彰等を行っております。

技術講演会は射出成形機、周辺機器、材料等の最新技術動向や成形技術や開発研究等の新しい技術開発の事例紹介などについて講演を頂いております。また、国際プラスチックフェア等の展示会や会員企業同士の生産現場の見学会も実施しております。最近では、一般財団法人産業デザインから助成を受け、自社製品の開発、独自技術の開発等を達成した正会員企業を称える贈賞事業も設けております。

## 産業デザイン賞 贈賞

産業デザイン賞を受賞された開発テーマと企業を紹介します。

令和2年度「秋田の医療を支えるものづくり」

株式会社ホクシンエレクトロニクス、株式会社フルヤモールド、株式会社セーコン

令和3年度「SDGs海洋プラスチックを考えるリサイクル産業」

秋田エコプラッシュ株式会社

令和4年度「型内圧力センサーを用いたショートショット検査自動化による  
生産効率の飛躍的向上」

株式会社品川合成製作所

令和5年度「プラスチック資源のリサイクルと廃棄物削減」

株式会社湯沢クリーンセンター

令和6年度「リサイクル材を活用したフロート製品開発」

有限会社利製作所

# 秋田県表面処理技術研究会

## 本研究会について

目的: 本研究会は、表面処理技術に関する研修・試験研究を通して、技術の向上をはかるとともに、会員相互の研鑽と融和をはかることを目的としております。

会長: 東電化工業株式会社 代表取締役 若泉 裕明

会員: 正会員 5社、準会員 3社、賛助会員 9社、特別会員 5名

設立: 1985年(昭和60年)1月

## 主な活動内容

主な活動として、役員会、総会、技術講習会、技術研修会、情報交換会、企業視察、研究発表会、技術講演会等を行っております。技術講習会と技術研修会は、電気めっき技能検定受験の実技試験対策用、学科試験対策用として実施しており、県内めっき企業の更なるレベル向上を目指して取り組んでおります。最近では、外国人技能実習生を対象とした技術講習会も開催するようになりました。企業視察では、約5年毎に海外のめっき関連企業の視察を行い、グローバルな情報収集に努めております。

また、本研究会には会員企業の若手従業員で構成される青年会があり、年に2回の割合で青年交流研修会として、県内企業見学や試薬・装置メーカーによる講演会等を開催しております。



設立40周年記念海外視察  
(タイ王国のめっき企業視察)



技術研修会  
(技能検定学科試験対策用)





# 秋田県生産技術研究会

## 本研究会について

**会長:** (株)三栄機械 代表取締役社長 佐藤 淳

**会員:** 正会員企業 47社、特別会員 大学・支援機関等7機関(R6.4現在)

**設立:** 平成11年5月(秋田県機械技術研究会と秋田県金属材料技術研究会が合併して設立)

**目的:** 工業の生産技術に関する研修、試験研究等を通して、新技術の開発、技術力の向上、人材養成を図るとともに、産・学・官の連携強化等により本県工業の発展に資することを目的とします。

## 主な活動内容

上記目的の達成のため、

- (1) 分科会方式による新技術の開発、共同研究の実施
- (2) 技術講習会、講演会、研修会の開催
- (3) 研究成果・事例発表会、企業見学会等の開催
- (4) 技術交流および技術情報の交換

などを実施しています。現在の主な事業は、総会、講習会、講演会、事例・研究発表会、企業見学会、各学会との講演会共催などです。特に、ものづくり技術(デジタルエンジニアリングや機械加工)、計測・検査・評価技術や評価機器等に関するセミナーを実施しています。



講習会の様子



THK株式会社 山形工場



2019年 合同企業見学会ーTHK(株)山形工場 2019.10.17

合同企業見学会の様子

# 北東北ナノ・メディカルクラスター研究会

## 本研究会について

目的: 医療現場からのニーズと企業・大学の技術シーズのマッチングや、医療機器メーカーと産学官のマッチングを図り、北東北における精密工学と医療技術の融合を基とした、次世代の新事業創出を目指しております。

会長: 秋田大学医学部附属病院 病理診断科・病理部 病院教授 南條 博  
顧問: 岩手県工業技術センター 顧問 (岩手大学前学長) 岩渕 明  
秋田大学学長 南谷佳弘、仙北市副市長 赤上陽一  
設立: 2003年(平成15年)

## 主な活動内容

本研究会は、平成15年より年3回のペースで開催しております。医療・バイオ関連、工学関連分野だけではなく、地域活性・地方創生分野、省庁関係者等、多種多様なジャンルの講師をお招きし、県内外の企業に更なる新規事業への参入を支援していくことを目的としています。

## 年3回の研究会



2019年12月(田沢湖にて)

## 研究会から生まれた製品例



# 秋田県硬質工具材料研究会

## 本研究会について

目的:本研究会では、産学官が協力して硬質工具材料技術に関する技術交流を図り、硬質工具材料技術を利用した新材料開発や新製品開発などを目指すことにより、この分野における技術の高度化を図るとともに、会員相互の啓発と親睦を図り、本県の工業の発展に資することを目的としています。

会長:秋田大学名誉教授 泰松 斉

会員:企業 5社、大学・支援機関等 3機関

設立:2005年(平成17年)5月

## 主な活動内容

主な活動として、役員会、総会、技術講演会、技術講習会、見学会等を行っており、硬質工具材料技術に関する技術交流および情報の交換を進めております。また、秋田大学と当センターで開発した硬質セラミックスの工具材料への展開をはじめ、産学官が協力して、硬質工具材料(リーマ、ドリル等)の開発と技術の高度化を推進しております。



技術講演会  
(硬質材料の専門家による講演)



工具試作品  
(WC-SiC系硬質セラミックス)



**秋田県産業技術センター**  
Akita Industrial Technology Center

事務局:先進プロセス開発部 関根、先端機能素子開発部 菅原  
素形材開発部 加藤

Tel : 018-862-3414 E-Mail : soudanshitu@aitc.pref.akita.jp



# 次世代ひかり産業技術研究会

## 本研究会について

目的：次世代の新規な光デバイス及びその周辺技術（以下、「ひかりデバイス等」という。）の用途開発や製品開発又はマーケティング戦略構築等に資するため、企業支援機関、大学等と連携し、ひかりデバイス等の技術や市場動向に関する情報の収集や市場進出に向けた課題の検討等を行うほか、会員相互の情報交換・マッチングを図ることを目的としています。

会長：秋田大学大学院教授 河村 希典

会員：企業等 27社、大学・支援機関等 8機関

設立：2011年（平成23年）6月

## 主な活動内容

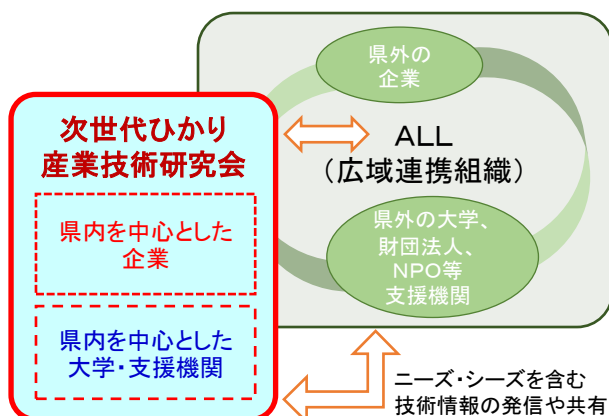
技術講演会や技術セミナー等を開催して「ひかりデバイス等」に関する情報の提供や会員相互の交流を進めております。また、技術展示会（LED NEXT STAGE総合展）への出展や、広域連携組織ALL（All Japan Lighting Laboratory）へも中核団体として参画し、情報発信や連携・交流を県外まで広げて活動をしております。

## 活動の様子



技術講演会

## 広域連携・交流





# 高エネルギー加速器技術研究会

## 本研究会について

**目的** 国際リニアコライダーや次世代放射光施設を始めとする高エネルギー加速器産業への部品調達などの産業参入や施設利活用技術の習得および高度化などを旨とするにより、この分野の技術向上を図るとともに、会員相互の啓発と親睦を図り、本県の工業の発展に資すること

会長：秋田化学工業株式会社 代表取締役社長 丹野 恭行

会員：企業 16社、顧問 1名、アドバイザー 2名、特別会員 5機関

設立：2018年(平成30年)5月

## 主な活動内容

□ 国際リニアコライダーや次世代放射光施設などに関わる加速器産業への参入のための技術力向上

・・・サプライヤー産業支援

□ 次世代放射光施設の高度利活用による製品開発力の向上

・・・ユーザー産業支援

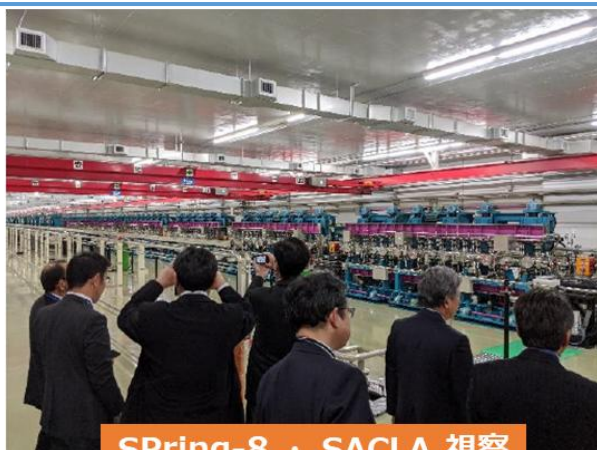
□ 加速器技術の獲得による県内産業の振興

上記の目標達成に向けて、以下の取り組みを行っております。

- ▶ 講演会、技術講習会、および工場見学会の開催
- ▶ 技術情報の交換、および加速器施設の視察
- ▶ その他、本会の目的を達成するための必要な事業(共同研究など)



真空チャンバー試作品



SPRING-8・SACLAL 視察



# あきたAI・IoT技術互助会

## 本互助会について

目的： 高効率な企業活動を実現するために必要となるAIやIoTを活用した技術を、研修や試験研究、会員相互の技術支援(互助)を通して習得・実装・普及を図ることにより、少子高齢化や人材不足の課題を乗り越えつつ、新たな産業創出と本県の発展に資することを目的としています。

会長： 株式会社三栄機械 代表取締役会長 齊藤 民一

会員： 会員数 38名(企業・大学・支援機関等含む)

設立： 2018年(平成30年)11月

## 主な活動内容

◎DX(デジタルトランスフォーメーション)に必要なAI・IoT技術を、自社内で内製できる人材育成を行なっております。

➤IoT基礎技術研修、現場実践研修(ハッカソン)

➤機械学習基礎研修

➤IoTネットワーク・ネットワークセキュリティ研修

など、ハンズオンで実践できる研修を行なっております。

◎会員同士が相互に技術共有や支援を行えるメーリングリストとSNSの運用を行なっております。



IoT現場実践研修 開発品実装



AI(機械学習)研修会



Tel : 018-862-3414 E-Mail : [soudanshitu@aitc.pref.akita.jp](mailto:soudanshitu@aitc.pref.akita.jp)